

## 目次

---

はじめに .....	5
Foreword.....	9
図表・事例一覧（掲載順） .....	14
1. なぜ今、テレビ会議か .....	17
▶1-1. 英語不要の皮膚感覚.....	17
▶1-2. 必要ではなく必然のテレビ会議.....	28
2. 会議の始め方 .....	44
▶2-1. 必要な機器.....	44
▶2-2. 参加者の抜擢 .....	53
▶2-3. 教員の役割.....	65
3. 協働の開始：会議交流へ踏み出し（ホップ） .....	86
▶3-1. 方向づけと役割確認.....	86
▶3-2. トピック選びからプレゼン初版作成まで .....	100
4. 添削によるフィードバック .....	122
▶4-1. 非対面・非同期による指南 .....	122
5. プレゼン試運転：会議交流への中間飛び（ステップ） .....	136
▶5-1. 物理的制約からの提言 .....	137
▶5-2. 最重要視する発音 .....	140
▶5-3. 構成へ踏み込んだ示唆 .....	146
▶5-4. 英文の質を向上させる .....	154
6. 再添削と本格的プレゼン実践：会議交流への踏み切り（ジャンプ） .....	160
▶6-1. 文字主体の再サポート .....	161
▶6-2. 身体面での再サポート .....	170
7. 水面下の準備 .....	176
▶7-1. アジア的環境 .....	176
▶7-2. 配置の確認.....	185
8. 実施当日の方略.....	194
▶8-1. 最終の練習から接続へ .....	194
▶8-2. 交流場面と教員の役割 .....	197
▶8-3. 振り返りと分かち合い .....	209
9. テレビ会議交流の効果と進化.....	215
▶9-1. テレビ会議交流がもたらす変化 .....	215
▶9-2. 学習志向別の効果 .....	220
▶9-3. 進化する技術と英語学習.....	225
10. 役に立つ文例集 .....	229

▶10-1. 準備段階 .....	229
▶10-2. 日本人参加者との打ち合わせ.....	241
▶10-3. 会議前の準備 .....	249
▶10-4. 接続前の準備 .....	261
▶10-5. 終了後のフォローアップ.....	274
参考文献 .....	278
あとがき .....	288
奥付 .....	292